8月に第20回日本文化交流団を経ての帰路、モスクワのトランスシートで空港近くのレストランで日本大使館の山本駐在公使、背佐由香里等の記念会におき、上月豊久幹事全権大使からの当団体への表彰状を頒布いたしました。ここには「貴重な文化交流団との相互理解及び友好親善に寄与しきめている功績を顕著なものがありました」と深まる敬意を表するとともに表彰しました」とあります。

2007年5月に第1回日本文化交流団をハバフスクト、ウラジオストックで開催して12年、毎年継続して20回になった今年、このような名義のある表彰状を頒布することをしたいと願っているからです。これは多くの国での協力なしには実現しえませんでした。

第1回は当時のモスクワ在日ベネズエラ大使の背佐由香里氏のご協力を仰ぎ、日本国総領事館副領事だった水木雅子氏やウラジオストック総領事の手配で、学校や図書館、友好協会「すずらん」等で横に斯坦のデモンストレーションをしました。

第3回は在日常務理事の紹介でベテルブルクのエカテリーナ・エフージョリさんと出会い、総勢12名でその名の、話題花、風景散歩、和歌のワークショップ、ロイ協会のリビング会長（故人）やニーナ・シュベートコーヘ事務局長、日本総領事館でもやるも歓迎して下さいました。

それからは、日本に招かれられたロイ協会の方々の出会いや、その方々の紹介などでポルト、ベルギ、タチツクス、エカテリーヌ、サルフラ、オレンブルグ、チェリズ、カカ、クララ、ロビーゲスト、ウサバシ、カーマンス、イクサクス等、様々な都市を訪問しました。サハリンの当時の領事館領事からの依頼で、エフージョリさん、コルサコフへ、当時のハバフスクト橋橋頭終局大使の紹介で、ハバフスクト以外にもチタ、ウランウデ、ヤクタツクを訪れる機会をいただきました。チタでお会いした井出敏二幹事全権大使には、その後も「ロシアにおける日本年2018」などで色々とお力添えを頂いています。そのお陰で日本大使館からもお声がかかり、第16回ではパルナワール、ソポピリクへ、第17回ではクリャンと3回目のサハリン訪問。19回目はサハリンの日本総領事の依頼により3回目のサハリンでホルムスク、ドーリンスクを訪問したところは先月号に掲載しました。門倉主席理事のお陰でハバフスクト総領事館を訪問、ロシアの日本総領事館や大使館の皆様に何度もお迎えいただきました。

ロシアは多くの友好団体があり、ハバフスクト「すずらん」のソーヤ・ロイトマン氏、ワニノのナナリカ・ソブレリ氏、サラトフのマリー・ジェイコブ氏にエカテリーヌ、ゴロモドリ氏、オレンブルグのリュジ・ミヘリ氏と日本のどうしご彼方のボランティアで頑張っています。どの街の人々との親しい交流も忘れがたく、場もその絵が切れるところはありません、モスクワのターニャを始め各地の通訳も文字通り汗を流してくれました。現地の日本語の先生や留学生の皆さんとの出会いも思い出が沢山あります。

講習会はその後、折り紙、照明、雪絵、塗り絵、書道、編み紐、花かさまたはミニ浴衣、家庭料理、折り紙、浴衣でないと多手にこびりました。また、航空券の寄付などの旅行団の皆さんには随分無理をされてもらいました。団長を務めていただけた江守副理事長や田崎副理事長には経済面もご援助していただきました。参加してくださった皆さんの仲間たち、第1回で活躍した長谷川理事、参加できないとき手作りのお土産を用意してくれた名古屋理事、熱心な回の貢献者や河野氏、松村氏、岩本常務理事、望月理事、山岸常務理事、今後の活動も期待している渡邊理事や野村氏…この2年、どれだけ大勢の方々に支えられたことか！どれほど感謝して見入りません。そして、今後も一層努力していきたいと気持ちを新たにしております。本当に有難うございました。 （岩本理事）